

学校給食事業の概要

1. 学校給食センターの概要

(1) 施設諸元

施設名	所在地	敷地面積	建物面積	建築年度
菅間学校 給食センター	菅間18番地9	9,908 m ²	5,700 m ²	平成 17 年
菅間第二学校 給食センター	菅間18番地1	13,154 m ²	7,370 m ²	平成 29 年
今成学校 給食センター	今成2丁目 35 番地5	5,476 m ²	3,272 m ²	昭和44年 ※平成4年度改築

(2) 各学校給食センターの給食規模・給食数・対象校

(令和5年5月1日現在)

施設名	給食数	小中別	対象校
菅間学校給食センター (※給食規模:12,000食)	11,202食	小学校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
菅間第二学校 給食センター (※給食規模:12,000食)	7,067食	小学校 12校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
	4,757食	中学校 11校 特別支援学校 1校	初雁・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・砂・寺尾・福原・山田・特別支援学校
今成学校給食センター (※給食規模:6,000食)	4,711食	中学校 11校	川越第一・富士見・野田・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井
合計	27,737食	55校	

2. 学校給食食育事業

児童生徒が給食を通して、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、下記の食育を実施しています。

(1) 学校の年間計画に位置づけた小学校2年生対象の食に関する指導の実施 〈令和4年度実績〉

- 実施期間 令和4年6月～令和5年2月
- 対象者 全市立小学校(32校) 小学校2年生 2,823人
- 指導内容 食品の3つの働き、バランスのとれた食事の大切さ等

(2) 小学校5・6年生家庭科における授業の実施 〈令和4年度実績〉

- 実施回数 4回(学校からの依頼による)
- 実施内容 家庭科(調理実習含む)の指導

(3) 学校における各種「食に関する指導」の実施 〈令和4年度実績〉

- 実施回数 45回(学校からの依頼による)
- 実施内容 給食試食会の講演、学級活動や総合的な学習等における食に関する指導、給食指導など

(4) 小学校新1年生就学時健診及び入学説明会における「食に関する指導」の実施 〈令和4年度実績〉

- 実施回数 19回(学校からの依頼による)
- 実施内容 新1年生就学時健診及び入学説明会における保護者向けの「食に関する指導」

(5) 各種広報紙の発行 〈令和4年度実績〉

- 実施回数 年5回
- 実施内容 4・6・7・11・1月に給食だよりを発行(4月は小学校1年生対象)
- 発行部数 家庭数(約25,000枚)

(6) 夏休み料理教室の開催 〈令和4年度実績〉

- 令和4年7月29日(金)に中央公民館との共催事業として開催し、午前、午後の部の2回で14組33名が参加した。

(7) 食の探検隊の開催

〈令和4年度実績〉

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止とした。

(8) 学校給食の啓発普及

・健康まつりへの参加

〈令和4年度実績〉

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、健康まつりが縮小(オンライン)となったため学校給食の参加はなし。

・給食週間事業

〈令和4年度実績〉

- 実施期間 令和5年1月24日～30日
- 実施場所 川越市市民サービスステーションU PLACE3階掲示板
- 実施内容 学校給食に関するパネル展示や資料配布等を行った。



(9) 学校給食に関するアンケート

- 第三次川越市教育振興基本計画において、施策の指標・目標値として「給食がおいしいと感じている児童生徒の割合」を掲げている。(目標値:令和7年度末100%)
令和3年度 84.2% ⇒ 令和4年度 85.5%

(10) 市政施行100周年記念給食

- 市政施行100周年を祝うとともに、川越市の歴史を学び、郷土への愛着や関心をきっかけづくりとして、市政施行100周年をテーマとした給食を提供した。

市制施行100周年を祝う記念給食の提供について

1. 目的と事業内容

- 川越市は、令和4年12月1日に市制施行100周年という記念の日を迎えます。
- 学校給食では、記憶に残る給食の提供と、家庭内で食に関する話題となる献立を提供し、食の関心へとつなげていきます。
- まず、11月の献立には、「町の地場産農作物を多く使用した料理」「今年度から登場した新しい料理」「市制施行100周年を祝う、ときもコロックやグレーゼリー」などを提供する予定です。
- さらに、献立表、給食ニュース、給食だよりなどの紙面を活用し、市制施行100周年を祝うとともに、本市の学校給食事業の歩みを振り返るような企画を検討しています。
- なお、11月の100周年記念給食は、各コース「2回」の提供を予定しています。
- また、アレルギー対応(卵・乳)にも配慮することで、児童生徒が給食時間を安全に過ごせるよう取組みます。

【事業取組のイメージ】

2. 100周年記念給食について

- 提供する献立の例 ※提供時期は学校給食により異なります。
- 小学校
 - *人参村長パン
 - *ときもコロック
 - *川越生まれのかわのシュー
 - *福原産の小麦菜のソテー
 - 川越産米
 - こじん米料理
 - 川越なっがりみそ汁
 - *人参村長の山吹和え
 - さばの小江戸みつばあんかけ
 - グレーゼリー
- 中学校・特別支援学校
 - *人参村長パン
 - *川越うどん
 - *ときもコロック
 - *川越産タンタン菜のミルク煮
 - *川越産ごぼうサラダ
 - 川越うどん
 - 味噌汁(人参、大根、ほうれん草)
 - *さつま芋の羽織茶衣天ぷら
 - わかめ炒め
 - 「食育の人間性」を養育し、健康志向の食事があふれる時間をアレンジ
 - グレーゼリー

3. 12月1日に提供する学校給食について

- 12月1日の記念日当日には、全コース一斉に提供できる1品として、「お祝いさつま芋チップス」を提供します。

3. 事業費

(1) 令和4年度予算額

【歳出】 2,579,149,000円 (2,480,350,000円)

うち「賄材料費」 1,506,748,000円 (1,453,016,000円)

※括弧は、令和4年度当初予算の金額

- ・食材価格の高騰に対応するため、補正予算：53,732,000円（賄材料費）を6月議会に上程した。
- ・原油価格の高騰に対応するため、補正予算：45,067,000円（光熱水費）を9月議会に上程した。

(2) 令和4年度決算額

【歳出】 2,549,038,693円

うち「賄材料費」 1,503,232,703円

○学校給食センター運営管理	2,029,491,221
1 報酬	123,862,844
3 職員手当等	17,626,133
4 共済費	4,119,832
7 報償費	60,000
8 旅費	4,524,473
10 需要費	1,694,840,032
11 役務費	18,458,119
12 委託料	152,390,719
13 使用料及び賃借料	3,844,560
17 備品購入費	9,552,289
18 負担金、補助及び交付金	212,220

○菅間第二学校給食センター 整備運営	519,547,472
12 委託料	498,353,356
16 公有財産購入費	21,194,116

学校給食の歴史

年	出来事
昭和 22 年	連合国のララ物資により、川越第一小、川越小、中央小、泉小などで川越市の学校給食が開始。
昭和 27 年	霞ヶ関小学校などで給食が開始。この頃の給食は、主食を家庭から持参し、副食を提供する形態。
S 29	学校給食法公布
S 31	学校給食法改正：小学校のみから義務教育の学校（中学校）全体に拡大
昭和 33 年	4月に川越小学校で、11月に旧市内の残る小学校及び高階小、霞ヶ関小などが完全給食となる。
昭和 35 年	山田小、山田中で給食開始。市内全小学校が完全給食となる。市内全中学校で混合乳による給食が開始。（補食給食）
S 39	共同調理場の国庫補助制度開始
S 40	ソフトめん（ソフト式スパゲティめん）、牛乳の給食開始
昭和 44 年	学校給食センターが今成に完成。市内全小中学校で完全給食が開始。「予定献立表」を各家庭に配布。
昭和 48 年	第二学校給食センターが寿町に完成。
S 51	学校給食に米飯が正式導入
昭和 51 年	12月から米飯給食を開始（月1回）。
昭和 52 年	第三学校給食センターが的場に完成。
昭和 56 年	第四学校給食センターが藤間に完成。
昭和 59 年	第五学校給食センターが吉田に完成。
平成 2 年	川越産の食材を使用開始。
平成 4 年	9月から先割れスプーンを廃止。はし箱セットを配布。
平成 5 年	第一学校給食センターを改築。中学校強化磁器食器を使用開始。
H 8	全国的に病原性大腸菌 O-157 による食中毒が発生。国が「学校給食衛生管理基準」を策定。
平成 10 年	第三学校給食センターを廃止。学校給食センターの名称を変更。（第一→今成、第二→寿町、第四→藤間、第五→吉田）
平成 11 年	小学 2 年生に「食に関する指導」開始。
平成 13 年	9月から藤間学校給食センター（小学校 11 校）で強化磁器食器の導入開始。
平成 17 年	寿町学校給食センターを廃止。9月から菅間学校給食センターが給食開始。菅間学校給食センターで強化磁器食器の導入開始。全ての小学校で強化磁器食器を使用。
平成 29 年	藤間及び吉田学校給食センターを廃止。菅間第二学校給食センターが給食開始。
平成 30 年	アレルギー対応食の提供開始。青果の 1 次加工開始。